

対象校No. 252

注4

学校コード F135210110061

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

下関市立大学 データサイエンス学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

公立大学法人下関市立大学  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	新学部設置準備室
職名・氏名	シヨニン カワサキ ユキコ 主任 河崎 由紀子
電話番号	083-254-8707 (内線: 305)
(夜間)	083-252-0288
e-mail	shingakubu@shimonoseki-cu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」  
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

データサイエンス学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人下関市立大学

## (2) 大学名

下関市立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒751-8510

山口県下関市大学町二丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミキ ジュンイチ) 三木 潤一 (令和6年4月)		
学長	(ハン チャンワン) 韓 昌完 (令和4年4月)		
学部長	(マツモト ヨシユキ) 松本 義之 (令和6年4月)		
副学部長	(ヤブウチ ヨシユキ) 藪内 賢之 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学生定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士(データサイエンス)	工学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-	1.10倍	-	
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	551	-			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	298	-			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	-			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.10				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ( )内には、**編入生の状況について外数で記入**してください。なお、編入生を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- 転入学生は記入しない**でください。
- [ ]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	88 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主授科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 ( <small>助手を除く</small> )	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育	外国語	英語 I a	1前		2								1
		英語 I b	1前		2								1
		中国語L	1前		2								1
		韓国語L	1前		2								1
		ドイツ語L	1前		2								1
		フランス語L	1前		2								1
		英語 I c	1後		2								1
		英語 I d	1後		2								1
		中国語M	1後		2								1
		韓国語M	1後		2								1
		ドイツ語M	1後		2								1
		フランス語M	1後		2								1
		英語 II a	2前		2								1
		英語 II b	2前		2								1
		英語 II c	2後		2								1
		英語 II d	2後		2								1
	小計(16科目)	—	—	8	24		0	0	0	0	0	0	6
	情報・数理	コンピュータ科学	1前		2					1			
		コンピュータ活用 I	1後		2								1
		情報リテラシー	1後		2					1			
		コンピュータ活用 II	2前		2								1
		プログラミング	2前		2		1						
		メディア論	2前		2								1
	小計(6科目)	—	—	12		1	0	1	0	0	0	3	
	初年次教育	アカデミックリテラシー	1前		1								2
基礎演習		1後		2					1			2	
小計(2科目)		—	—	3		0	0	1	0	0	0	4	
教養教育	リベラルアーツ	倫理	1前		2								1
		文学	1前		2								1
		芸術	1前		2								1
		心理学概論	1前		2								1
		日本史概論	1前		2								1
		西洋史概論	1前		2								1
		人文地理学概論	1前		2								1
		哲学概論	1後		2								1
		東洋史概論	1後		2								1
	小計(9科目)	—	—	18		0	0	0	0	0	0	8	
	社会科学	社会	1前		2								1
		生命保険概論	1前		2								1
		経営学	1前		2								1
		政治	1後		2								1
		アントレプレナーシップ	1後		2								1
		経済学	1後		2								1
		教育学	1後		2								1
	小計(7科目)	—	—	14		0	0	0	0	0	0	7	
	自然科学	自然の法則	1前		2								1
生命と生態		1前		2								1	
人間と物質		1後		2								1	
宇宙と地球		1後		2								1	
科学技術史		1後		2								1	
自然地理学概論		1後		2								1	
小計(6科目)	—	—	12		0	0	0	0	0	0	4		
生命・健康科学	健康と運動	1前		2								1	
	健康と生活習慣	1前		2								2	
	スポーツ実践A	1前		1								1	
	健康と栄養	1後		2								1	
	脳と認知	1後		2								1	
	スポーツ実践B	1後		1								1	
小計(6科目)	—	—	10		0	0	0	0	0	0	5		
人権・共生	福祉	1前		2								1	
	日本国憲法	1前		2								1	
	ダイバーシティ	1前		2								1	
	異文化交流	1前		2								1	
	人権	1後		2								1	
	法学総論	1後		2								1	
	多様性と障害理解	1後		2								1	
	多文化共生	1後		2								1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	0	5		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主授科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 ( <small>助手を除く</small> )	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤教育	外国語	英語 I a	1前		2								1
		英語 I b	1前		2								1
		中国語L	1前		2								1
		韓国語L	1前		2								1
		ドイツ語L	1前		2								1
		フランス語L	1前		2								1
		英語 I c	1後		2								1
		英語 I d	1後		2								1
		中国語M	1後		2								1
		韓国語M	1後		2								1
		ドイツ語M	1後		2								1
		フランス語M	1後		2								1
		英語 II a	2前		2								1
		英語 II b	2前		2								1
		英語 II c	2後		2								1
		英語 II d	2後		2								1
	小計(16科目)	—	—	8	24		0	0	0	0	0	0	6
	情報・数理	コンピュータ科学	1前		2						1		
		コンピュータ活用 I	1後		2								1
		情報リテラシー	1後		2						1		
		コンピュータ活用 II	2前		2								1
		プログラミング	2前		2		1						
		メディア論	2前		2								1
	小計(6科目)	—	—	12		1	0	1	0	0	0	3	
	初年次教育	アカデミックリテラシー	1前		1								2
基礎演習		1後		2					1			2	
小計(2科目)		—	—	3		0	0	1	0	0	0	4	
教養教育	リベラルアーツ	倫理	1前		2								1
		文学	1前		2								1
		芸術	1前		2								1
		心理学概論	1前		2								1
		日本史概論	1前		2								1
		西洋史概論	1前		2								1
		人文地理学概論	1前		2								1
		哲学概論	1後		2								1
		東洋史概論	1後		2								1
	小計(9科目)	—	—	18		0	0	0	0	0	0	8	
	社会科学	社会	1前		2								1
		生命保険概論	1前		2								1
		経営学	1前		2								1
		政治	1後		2								1
		アントレプレナーシップ	1後		2								1
		経済学	1後		2								1
		教育学	1後		2								1
	小計(7科目)	—	—	14		0	0	0	0	0	0	7	
	自然科学	自然の法則	1前		2								1
生命と生態		1前		2								1	
人間と物質		1後		2								1	
宇宙と地球		1後		2								1	
科学技術史		1後		2								1	
自然地理学概論		1後		2								1	
小計(6科目)	—	—	12		0	0	0	0	0	0	4		
生命・健康科学	健康と運動	1前		2								1	
	健康と生活習慣	1前		2								2	
	スポーツ実践A	1前		1								1	
	健康と栄養	1後		2								1	
	脳と認知	1後		2								1	
	スポーツ実践B	1後		1								1	
小計(6科目)	—	—	10		0	0	0	0	0	0	5		
人権・共生	福祉	1前		2								1	
	日本国憲法	1前		2								1	
	ダイバーシティ	1前		2								1	
	異文化交流	1前		2								1	
	人権	1後		2								1	
	法学総論	1後		2								1	
	多様性と障害理解	1後		2								1	
	多文化共生	1後		2								1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	0	5		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 <small>（助手以外を除く）</small>	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育	下関学	下関の産業とみらい	1前		2								1
		下関の観光	1後		2								1
		PBL	1後		2								1
	小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	0	3	
	キャリア教育	キャリアデザインA	1前		1								1
		就業体験実習	1後		2								1
		キャリアデザインB	1後		2								1
		キャリアデザインC	2後		2								1
		インターンシップ	3後		2								1
	小計(5科目)	—	—	9		0	0	0	0	0	0	5	
外国研修	外国研修(英語)	1後・2前		2								1	
	外国研修(中国語)	1後・2前		2								1	
	外国研修(韓国語)	1後・2前		2								1	
小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	0	3		
専門基礎	数学・情報基礎	情報社会及び情報倫理	1前		2								1
		数学基礎	1前		2		1						
		DSプログラミング入門	1後		2		1						
		情報学概論	1後		2		1						
		線形代数学	1後	○	2		1						
		確率論	1後		2		1						
		データベース	2前		2		1						
		解析学	2前		2		1						
		数理統計学	2前	○	2		1						
		幾何学	2後		2								1
		アルゴリズム論	2後	○	2		1						
		ネットワーク技術論	2後		2		1						
	小計(12科目)	—	—	12	12	5	1	0	0	0	0	2	
	DS入門・基礎	データサイエンス入門	1前	○	2			1					
		データサイエンス入門演習	1後	○	2			1					
		データサイエンス基礎	2前	○	2			1					
		情報と職業	2後		2		1						1
		データサイエンス演習	2後	○	2				1				
	小計(5科目)	—	—	10		1	1	1	0	0	0	1	
	データ分析活用	回帰分析	2前	○	2		1						
		定量的データ解析	2後	○	2		1						
データハンドリング		2後		2		1							
カテゴリカルデータ解析		2後	○	2		1							
人工知能概論		2後	○	2		1							
時系列解析		2後		2		1							
表データ数理解析		2後		2		1							
ベイズ統計学		2後		2		1							
定量的データ解析演習		3前	○	2		1							
機械学習		3前		2		1							
統計的モデリング		3前		2		1							
統計的社会調査法		3前		2			1						
データマイニング		3前	○	2		1							
表データ数理解析演習		3前		2		1							
デジタル信号処理技術	3前		2		1								
カテゴリカルデータ解析演習	3前	○	2		1								
パターン認識	3後		2		1								
テキストマイニング	3後		2		1								
統計的社会調査法演習	3後		2			1							
社会ネットワーク分析	3後		2		1								
データ分析演習	3後	○	2		2	1							
小計(21科目)	—	—	16	26	8	2	1	0	0	0	0		
演習・卒業研究	コロキウム I	1後		2		1	1	2				1	
	研究倫理	2前		2									
	DSプロジェクト	3通	○	4		9	4	4					
	コロキウム II	3後		2		1	1	2					
	卒業研究	4通		4		8	3	4					
小計(5科目)	—	—	14		9	4	4	0	0	0	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員 <small>（助手以外を除く）</small>	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育	下関学	下関の産業とみらい	1前		2								1
		下関の観光	1後		2								1
		PBL	1後		2								1
	小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	0	3	
	キャリア教育	キャリアデザインA	1前		1								1
		就業体験実習	1後		2								1
		キャリアデザインB	1後		2								1
		キャリアデザインC	2後		2								1
		インターンシップ	3後		2								1
	小計(5科目)	—	—	9		0	0	0	0	0	0	5	
外国研修	外国研修(英語)	1後・2前		2								1	
	外国研修(中国語)	1後・2前		2								1	
	外国研修(韓国語)	1後・2前		2								1	
小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	0	3		
専門基礎	数学・情報基礎	情報社会及び情報倫理	1前		2								1
		数学基礎	1前		2			1					
		DSプログラミング入門	1後		2		1						
		情報学概論	1後		2		1						
		線形代数学	1後	○	2		1						
		確率論	1後		2		1						
		データベース	2前		2		1						
		解析学	2前		2		1						
		数理統計学	2前	○	2		1						
		幾何学	2後		2								1
		アルゴリズム論	2後	○	2		1						
		ネットワーク技術論	2後		2		1						
	小計(12科目)	—	—	12	12	5	1	0	0	0	0	2	
	DS入門・基礎	データサイエンス入門	1前	○	2			1					
		データサイエンス入門演習	1後	○	2			1					
		データサイエンス基礎	2前	○	2			1					
		情報と職業	2後		2		1						1
		データサイエンス演習	2後	○	2				1				
	小計(5科目)	—	—	10		1	1	1	0	0	0	1	
	データ分析活用	回帰分析	2前	○	2		1						
		定量的データ解析	2後	○	2		1						
データハンドリング		2後		2		1							
カテゴリカルデータ解析		2後	○	2		1							
人工知能概論		2後	○	2		1							
時系列解析		2後		2		1							
表データ数理解析		2後		2		1							
ベイズ統計学		2後		2		1							
定量的データ解析演習		3前	○	2		1							
機械学習		3前		2		1							
統計的モデリング		3前		2		1							
統計的社会調査法		3前		2			1						
データマイニング		3前	○	2		1							
表データ数理解析演習		3前		2		1							
デジタル信号処理技術	3前		2		1								
カテゴリカルデータ解析演習	3前	○	2		1								
パターン認識	3後		2		1								
テキストマイニング	3後		2		1								
統計的社会調査法演習	3後		2			1							
社会ネットワーク分析	3後		2		1								
データ分析演習	3後	○	2		2	1							
小計(21科目)	—	—	16	26	8	2	1	0	0	0	0		
演習・卒業研究	コロキウム I	1後		2		1	1	2				1	
	研究倫理	2前		2									
	DSプロジェクト	3通	○	4		9	4	4					
	コロキウム II	3後		2		1	1	2					
	卒業研究	4通		4		8	3	4					
小計(5科目)	—	—	14		9	4	4	0	0	0	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員(助手を除く)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門応用	ビジネスエッセ	経営情報概論	2前	○	2		1						
		情報システム論	2後		2			1					
		経営情報システム論	2後		2			1					
		E-コマース論	3前		2		1						
		オペレーションズリサーチ	3前		2		1						
		マーケティング・リサーチ	3前		2		1						
		数理最適化	3後		2		1						
		ビジネスデータ分析	3後		2		1						
	小計(8科目)	—	—	2	14		3	1	1	0	0	0	
	ヘルステータサイエンス	保健医療学概論	2前	○	2				1				
		疫学・公衆衛生学概論	2後		2		1						
		遺伝学概論	3前		2				1				
		感性データ処理	3前		2		1						
		薬理学概論	3前		2				1				
		臨床研究概論	3後		2				1				
		バイオフィオマティクス	3後		2		1						
		医療健康情報学	3後		2		1						
生物統計学		3後		2				1					
小計(9科目)	—	—	2	16		2	1	3	0	0	0		
教育職員免許状取得のための科目	教職論	1前				2						1	
	教育原理・教育課程論	1後				2						1	
	教育方法論(IGT活用含む)	2前				2						1	
	教育心理学	2前				2						1	
	数学科教育法Ⅰ	2前				2						1	
	道徳教育	2後				2						1	
	生徒指導(進路指導含む)	2後				2						1	
	総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	2後				2						1	
	数学科教育法Ⅱ	2後				2						1	
	教育行政	3前				2						1	
	特別支援教育論	3前				2						1	
	数学科教育法Ⅲ	3前				2						1	
	情報科教育法Ⅰ	3前				2						1	
	教育相談	3後				2						1	
	教育社会学	3後				2						1	
	介護等体験実習	3後				2						1	
	数学科教育法Ⅳ	3後				2						1	
情報科教育法Ⅱ	3後				2						1		
教育実習Ⅰ	4前				2						1		
教育実習Ⅱ	4前				2						1		
教育実習事前・事後指導	4後				1						4		
教職実践演習(中高)	4後				2						3		
小計(22科目)	—	—			43	0	0	0	0	0	12		
合計(153科目)					64	198	43	9	4	4	0	50	
卒業要件及び履修方法													
必修科目64単位、基礎教育(英語を含む。)から11単位以上、教養教育から16単位以上、専門基礎及び専門応用から80単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。専門基礎においては、数学・情報基礎から12単位以上、DS入門・基礎から10単位、データ分析活用から20単位以上、演習・卒業研究から14単位を修得し、専門応用においては10単位以上(ビジネスデータサイエンス、ヘルステータサイエンスのいずれかの分野の選択科目6単位以上を要する)を修得すること。 (履修登録の上限:22単位(半期))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用	ビジネスエッセ	経営情報概論	2前	○	2		1					
		情報システム論	2後		2			1				
		経営情報システム論	2後		2			1				
		E-コマース論	3前		2		1					
		オペレーションズリサーチ	3前		2		1					
		マーケティング・リサーチ	3前		2		1					
		数理最適化	3後		2		1					
		ビジネスデータ分析	3後		2		1					
	小計(8科目)	—	—	2	14		3	1	1	0	0	0
	ヘルステータサイエンス	保健医療学概論	2前	○	2				1			
		疫学・公衆衛生学概論	2後		2		1					
		遺伝学概論	3前		2				1			
		感性データ処理	3前		2		1					
		薬理学概論	3前		2				1			
		臨床研究概論	3後		2				1			
		バイオフィオマティクス	3後		2		1					
		医療健康情報学	3後		2		1					
生物統計学		3後		2				1				
小計(9科目)	—	—	2	16		2	1	3	0	0	0	
教育職員免許状取得のための科目	教職論	1前				2						1
	教育原理・教育課程論	1後				2						2
	教育方法論(IGT活用含む)	2前				2						1
	教育心理学	2前				2						1
	数学科教育法Ⅰ	2前				2						1
	道徳教育	2後				2						1
	生徒指導(進路指導含む)	2後				2						2
	総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	2後				2						1
	数学科教育法Ⅱ	2後				2						1
	教育行政	3前				2						1
	特別支援教育論	3前				2						1
	数学科教育法Ⅲ	3前				2						1
	情報科教育法Ⅰ	3前				2						1
	教育相談	3後				2						1
	教育社会学	3後				2						1
	介護等体験実習	3後				2						1
	数学科教育法Ⅳ	3後				2						1
情報科教育法Ⅱ	3後				2						1	
教育実習Ⅰ	4前				2						1	
教育実習Ⅱ	4前				2						1	
教育実習事前・事後指導	4後				1						4	
教職実践演習(中高)	4後				2						3	
小計(22科目)	—	—			43	0	0	0	0	0	16	
合計(153科目)					64	198	43	9	4	4	0	54
卒業要件及び履修方法												
必修科目64単位、基礎教育(英語を含む。)から11単位以上、教養教育から16単位以上、専門基礎及び専門応用から80単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。専門基礎においては、数学・情報基礎から12単位以上、DS入門・基礎から10単位、データ分析活用から20単位以上、演習・卒業研究から14単位を修得し、専門応用においては10単位以上(ビジネスデータサイエンス、ヘルステータサイエンスのいずれかの分野の選択科目6単位以上を要する)を修得すること。 (履修登録の上限:22単位(半期))												

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、**「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)**
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については**【未開講】**として記入してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。**(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)**
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・学生の学修機会の確保ため、教養教育の「経済学」について、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・基幹教員以外の教員の算出方法の誤りを補正したことにより、科目区分「教養教育」の「外国研修」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「教育原理・教育課程論」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「生徒指導（進路指導含む）」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。

- (注) 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	101 科目	22 科目	153 科目	30 科目 [ 0 ]	101 科目 [ 0 ]	22 科目 [ 0 ]	153 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{153} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	58,062.00㎡	0㎡	0㎡	58,062.00㎡				
	そ の 他	9,961.44㎡	0㎡	0㎡	9,961.44㎡				
	合 計	68,023.44㎡	0㎡	0㎡	68,023.44㎡				
(2) 校舎	専 用	20,965.38㎡	0㎡	0㎡	20,965.38㎡				
		20,965.38㎡	( 0㎡)	( 0㎡)	20,965.38㎡				
(3) 教室・教員研究室		教 室	58室	教員研究室	17室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標本	※図書の増加は教育研究環境充実のため。(6)		
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			点	
	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点				
	データサイエンス学部	280,335 [35,602] <del>278,752 [35,420]</del> (275,071 [35,398]) <del>(273,488 [35,216])</del>	582 [102] <del>392 [62]</del> (390 [90]) <del>(200 [50])</del>	614 [445] <del>575 [441]</del> (606 [445]) <del>(575 [441])</del>	439 [439] (439 [439])	1,497 (1,428) <del>(1,377)</del>		0 (0)	
計	280,335 [35,602] <del>278,752 [35,420]</del> (275,071 [35,398]) <del>(273,488 [35,216])</del>	582 [102] <del>392 [62]</del> (390 [90]) <del>(200 [50])</del>	614 [445] <del>575 [441]</del> (606 [445]) <del>(575 [441])</del>	439 [439] (439 [439])	1,497 (1,428) <del>(1,377)</del>	0 (0)			
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	275.53㎡		0.00㎡		8,167.64㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費の減少について、開設前年度は入札残によるもの。開設年度及び完成年度については実績及び予算編成に基づき再計上したため。(6) ※設備購入費の減少については、入札残によるもの。(6)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	30,184千円 <del>39,566千円</del>	27,055千円 <del>27,900千円</del>	27,055千円 <del>27,900千円</del>	
		共同研究費等	2,300千円	2,300千円	設備購入費	56,632千円 <del>83,602千円</del>	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		677千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		運営交付金、寄附金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	下 関 市 立 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学部	4	370	3年次20	1760	-	1.08	-	-	昭和37	-				
経済学科	4	155	3年次8	756	学士(経済学)	1.08	-	-	昭和37	山口県下関市大学町二丁目1番1号	令和6年度から入学定員変更(195→155)			
国際商学科	4	155	3年次8	756	学士(商学)	1.11	-	-	昭和58	同上	令和6年度から入学定員変更(195→155)			
公共マネジメント学科	4	60	3年次4	248	学士(公共マネジメント学)	1.02	-	-	平成23	同上				
データサイエンス学部	4	80	-	80	-	1.10	-	-	令和6	-				
データサイエンス学科	4	80	-	80	学士(データサイエンス)	1.10	-	-	令和6	同上				
大学全体	4	450	3年次20	1840	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6-7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	松本 義之 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		テキストマイニング DSプロジェクト 卒業研究 経営情報概論 E-コマース論
基 (主 専)	教授	藪内 賢之 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		回帰分析 定量的データ解析 時系列解析 データ分析演習 DSプロジェクト 卒業研究 数理解最適化
基 (主 専)	教授	酒井 浩 ( ) <令和6年4月> 理学博士
		線形代数学 解析学 表データ数理解析 表データ数理解析演習 DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	白濱 成希 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		プログラミング DSプログラミング入門 人工知能概論 DSプロジェクト コロキウムⅡ 卒業研究 感性データ処理
基 (主 専)	教授	坂東 幸浩 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		ネットワーク技術論 デジタル信号処理技術 パターン認識 コロキウムⅠ DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	山根 智 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報学概論 アルゴリズム論 情報と職業 データハンドリング 機械学習 DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	和多田 淳三 ( ) <令和6年4月> 工学博士
		カテゴリカルデータ解析 統計的モデリング DSプロジェクト 卒業研究

【令和6年度】

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	松本 義之 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		テキストマイニング DSプロジェクト 卒業研究 経営情報概論 E-コマース論
基 (主 専)	教授	藪内 賢之 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		回帰分析 定量的データ解析 時系列解析 データ分析演習 DSプロジェクト 卒業研究 数理解最適化
基 (主 専)	教授	酒井 浩 ( ) <令和6年4月> 理学博士
		線形代数学 解析学 表データ数理解析 表データ数理解析演習 DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	白濱 成希 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		プログラミング DSプログラミング入門 人工知能概論 DSプロジェクト コロキウムⅡ 卒業研究 感性データ処理
基 (主 専)	教授	坂東 幸浩 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		ネットワーク技術論 デジタル信号処理技術 パターン認識 コロキウムⅠ DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	山根 智 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		情報学概論 アルゴリズム論 情報と職業 データハンドリング 機械学習 DSプロジェクト 卒業研究
基 (主 専)	教授	和多田 淳三 ( ) <令和6年4月> 工学博士
		カテゴリカルデータ解析 統計的モデリング DSプロジェクト 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	古川 哲也 ( ) <令和7年4月> 工学博士
		データベース データマイニング 社会ネットワーク分析 データ分析演習 DSプロジェクト 卒業研究 オペレーションズリサーチ
基(主専)	准教授	近藤 宏樹 ( ) <令和6年4月> 博士(数理学)
		数学基礎 確率論 数理統計学 ベイズ統計学 DSプロジェクト 卒業研究
基(主専)	准教授	田中 信彦 ( ) <令和6年4月> 博士(農学)
		定量的データ解析演習 カテゴリカルデータ解析演習 データ分析演習 コロキウムI DSプロジェクト 卒業研究 バイオインフォマティクス
基(主専)	准教授	中岡 伊織 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 経営情報システム論 マーケティング・リサーチ ビジネスデータ分析
基(主専)	講師	徐 明 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		コロキウムI DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 保健医療学概論 遺伝学概論
基(主専)	講師	中上 裕有樹 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		統計的社会調査法 統計的社会調査法演習 DSプロジェクト 卒業研究 臨床研究概論 生物統計学
基(主専)	講師	福田 龍樹 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		コンピュータ科学 情報リテラシー データサイエンス演習 DSプロジェクト 卒業研究 情報システム論
基(主専)	講師	松浦 健二 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		基礎演習 コロキウムI DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 薬理学概論
基(他)	教授	窪田 和巳 ( ) <令和6年4月> 博士(保健学)
		DSプロジェクト 疫学・公衆衛生学概論 医療健康情報学

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	古川 哲也 ( ) <令和7年4月> 工学博士
		データベース データマイニング 社会ネットワーク分析 データ分析演習 DSプロジェクト 卒業研究 オペレーションズリサーチ
基(主専)	准教授	近藤 宏樹 ( ) <令和6年4月> 博士(数理学)
		数学基礎 確率論 数理統計学 ベイズ統計学 DSプロジェクト 卒業研究
基(主専)	准教授	田中 信彦 ( ) <令和6年4月> 博士(農学)
		定量的データ解析演習 カテゴリカルデータ解析演習 データ分析演習 コロキウムI DSプロジェクト 卒業研究 バイオインフォマティクス
基(主専)	准教授	中岡 伊織 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 経営情報システム論 マーケティング・リサーチ ビジネスデータ分析
基(主専)	講師	徐 明 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		コロキウムI DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 保健医療学概論 遺伝学概論
基(主専)	講師	中上 裕有樹 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		統計的社会調査法 統計的社会調査法演習 DSプロジェクト 卒業研究 臨床研究概論 生物統計学
基(主専)	講師	福田 龍樹 ( ) <令和6年4月> 博士(工学)
		コンピュータ科学 情報リテラシー データサイエンス演習 DSプロジェクト 卒業研究 情報システム論
基(主専)	講師	松浦 健二 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		基礎演習 コロキウムI DSプロジェクト コロキウムII 卒業研究 薬理学概論
基(他)	教授	窪田 和巳 ( ) <令和7年4月> 博士(保健学)
		DSプロジェクト 疫学・公衆衛生学概論 医療健康情報学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(他)	准教授	村重 慎一郎 ( ) <令和6年4月> 修士(工学)
		データサイエンス入門 データサイエンス入門演習 データサイエンス基礎 DSプロジェクト
その他	教授	川野 祐二 ( ) <令和6年4月> 修士(経営学)
		科学技術史
その他	教授	岸本 充弘 ( ) <令和6年4月> 博士(学術)
		下関の産業とみらい
その他	教授	中嶋 恵美子 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		健康と生活習慣
その他	教授	中林 浩子 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		アカデミックリテラシー 教育学 教育方法論(ICT活用含む) 生徒指導(進路指導含む) 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)
その他	教授	Paul Collett ( ) <令和6年4月> 修士(心理学)
		英語 I b 英語 I d 英語 II b 英語 II d
その他	教授	渡邊 尚孝 ( ) <令和6年4月> 理学修士(カウンセリング研究)
		基礎演習 心理学概論 教育心理学 介護等体験実習 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)
その他	准教授	天野 かおり ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		教育原理・教育課程論 教育行政 教育実習 I 教育実習 II 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(他)	准教授	村重 慎一郎 ( ) <令和6年4月> 修士(工学)
		データサイエンス入門 データサイエンス入門演習 データサイエンス基礎 DSプロジェクト
その他	講師	川野 祐二 ( ) <令和6年4月> 修士(経営学)
		科学技術史
その他	教授	岸本 充弘 ( ) <令和6年4月> 博士(学術)
		下関の産業とみらい
その他	教授	中嶋 恵美子 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		健康と生活習慣
その他	教授	中林 浩子 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		アカデミックリテラシー 生徒指導(進路指導含む) 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)
その他	講師	西山 久子 ( ) <令和7年9月> 博士(学校教育学)
		生徒指導(進路指導含む)
その他	教授	Paul Collett ( ) <令和6年4月> 修士(心理学)
		英語 I b 英語 I d 英語 II b 英語 II d 外国研修(英語)
その他	教授	渡邊 尚孝 ( ) <令和6年4月> 理学修士(カウンセリング研究)
		基礎演習 心理学概論 介護等体験実習 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)
その他	講師	川俣 智路 ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育心理学
その他	准教授	天野 かおり ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		教育学 教育行政 教育実習 I 教育実習 II 教育実習事前・事後指導 教職実践演習(中高)
その他	講師	佐々木 司 ( ) <令和6年9月> 博士(教育学)
		教育原理・教育課程論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	石井 良輔 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済学
その他	准教授	石川 朝子 ( ) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		アカデミックリテラシー ダイバーシティ 異文化交流 多文化共生 教育社会学
その他	准教授	上野 恵美 ( ) <令和6年4月> 経済学士
		PBL キャリアデザインA 就業体験実習 キャリアデザインB キャリアデザインC インターンシップ 情報と職業
その他	准教授	大野 悠介 ( ) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		日本国憲法 法学総論
その他	准教授	加来 和典 ( ) <令和6年4月> 文学修士
		社会
その他	准教授	加藤 秀男 ( ) <令和6年4月> PhD(博士号)(英国)
		外国研修(英語)
その他	准教授	金 瑛智 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		脳と認知
その他	准教授	小村 有紀 ( ) <令和6年4月> 修士(経済学)
		福祉
その他	准教授	小柳 真二 ( ) <令和6年4月> 修士(経済学)
		人文地理学概論
その他	准教授	佐々木 淳 ( ) <令和6年4月> 修士(理学)
		コンピュータ活用I
その他	准教授	佐々木 実 ( ) <令和6年4月> 理学博士
		コンピュータ活用II 自然の法則 宇宙と地球

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	静屋 智 ( ) <令和6年9月> 修士(教育学)
		教育原理・教育課程論
その他	准教授	石井 良輔 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済学
その他	准教授	石川 朝子 ( ) <令和6年4月> 修士(人間科学)
		アカデミックリテラシー ダイバーシティ 異文化交流 多文化共生 教育社会学
その他	准教授	上野 恵美 ( ) <令和6年4月> 修士(経済学)
		PBL キャリアデザインA 就業体験実習 キャリアデザインB キャリアデザインC インターンシップ 情報と職業
その他	講師	檜垣 宏太 ( ) <令和6年9月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学総論
その他	准教授	加来 和典 ( ) <令和6年4月> 文学修士
		社会
その他	准教授	金 瑛智 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		脳と認知
その他	准教授	小村 有紀 ( ) <令和6年4月> 修士(経済学)
		福祉
その他	准教授	小柳 真二 ( ) <令和6年4月> 修士(経済学)
		人文地理学概論
その他	准教授	佐々木 淳 ( ) <令和6年4月> 修士(理学)
		コンピュータ活用I
その他	准教授	佐々木 実 ( ) <令和6年4月> 理学博士
		コンピュータ活用II 自然の法則 宇宙と地球

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	趙 彩尹 ( ) <令和6年4月> 博士(障害科学)
		多様性と障害理解 研究倫理
その他	准教授	高田(山崎) 清美 ( ) <令和6年4月> 修士(心理学)
		英語 I a 英語 I c 英語 II a 英語 II c 教育相談 教育実習事前・事後指導
その他	准教授	長濱 幸一 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		西洋史概論
その他	准教授	西田 郁子 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		基礎演習 経営学
その他	准教授	馬 叢慧 ( ) <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語L 中国語M 外国研修(中国語)
その他	准教授	松崎 守利 ( ) <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康と運動 スポーツ実践A スポーツ実践B
その他	准教授	太田 麻美子 ( ) <令和8年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育論
その他	講師	岩端 昭則 ( ) <令和6年4月> 学士(商学)
		生命保険概論
その他	講師	呉 香善 ( ) <令和6年4月> 修士(比較社会文化)
		韓国語L 韓国語M 外国研修(韓国語)
その他	講師	岡本 正康 ( ) <令和6年4月> 修士(芸術学)
		芸術
その他	講師	河本 乃里 ( ) <令和6年4月> 博士(健康福祉学)
		健康と生活習慣
その他	講師	桐原 隆弘 ( ) <令和6年4月> Dr.Phil.(独国)
		倫理 哲学概論

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	趙 彩尹 ( ) <令和6年4月> 博士(障害科学)
		多様性と障害理解 研究倫理
その他	准教授	高田(山崎) 清美 ( ) <令和6年4月> 修士(心理学)
		英語 I a 英語 I c 英語 II a 英語 II c 教育相談 教育実習事前・事後指導
その他	准教授	長濱 幸一 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		西洋史概論
その他	准教授	西田 郁子 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		基礎演習
その他	准教授	日高 卓朗 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		経営学
その他	准教授	馬 叢慧 ( ) <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語L 中国語M 外国研修(中国語)
その他	教授	松崎 守利 ( ) <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康と運動 スポーツ実践A スポーツ実践B
その他	准教授	太田(中村) 麻美子 ( ) <令和8年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育論
その他	講師	岩端 昭則 ( ) <令和6年4月> 学士(商学)
		生命保険概論
その他	准教授	呉 香善 ( ) <令和6年4月> 修士(比較社会文化)
		韓国語L 韓国語M 外国研修(韓国語)
その他	講師	岡本 正康 ( ) <令和6年4月> 修士(芸術学)
		芸術
その他	講師	河本 乃里 ( ) <令和6年4月> 博士(健康福祉学)
		健康と生活習慣
その他	講師	桐原 隆弘 ( ) <令和6年4月> Dr.Phil.(独国)
		倫理 哲学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小西 哲也 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		教職論
その他	講師	櫻木 晋一 ( ) <令和6年4月> 博士(史学)
		日本史概論
その他	講師	田口 寛 ( ) <令和6年4月> 修士(文学)
		文学
その他	講師	張 影 ( ) <令和6年4月> 博士(医学)
		生命と生態 人間と物質
その他	講師	中川 裕二 ( ) <令和6年4月> 文学修士
		フランス語L フランス語M
その他	講師	古川 健一 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		情報社会及び情報倫理
その他	講師	渡辺 アンゲリカ ( ) <令和6年4月> Staatsexamen für das Lehramt am Gymnasium(独国)
		ドイツ語L ドイツ語M
その他	講師	押川 信久 ( ) <令和6年9月> 博士(文学)
		東洋史概論
その他	講師	北尾 洋二 ( ) <令和6年9月> 学士(社会学)
		メディア論 アントレプレナーシップ
その他	講師	宗 建郎 ( ) <令和6年9月> 修士(文学)
		自然地理学概論
その他	講師	西 貴倫 ( ) <令和6年9月> 修士(法学)
		人権

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	小西 哲也 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		教職論
その他	准教授	藤井 崇 ( ) <令和6年4月> 博士(経済学)
		日本史概論
その他	講師	田口 寛 ( ) <令和6年4月> 修士(文学)
		文学
その他	講師	高橋 洋 ( ) <令和6年4月> 博士(水産科学)
		生命と生態 人間と物質
その他	講師	中川 裕二 ( ) <令和6年4月> 文学修士
		フランス語L フランス語M
その他	講師	古川 健一 ( ) <令和6年4月> 修士(教育学)
		情報社会及び情報倫理
その他	講師	渡辺 アンゲリカ ( ) <令和6年4月> Staatsexamen für das Lehramt am Gymnasium(独 国)
		ドイツ語L ドイツ語M
その他	講師	押川 信久 ( ) <令和6年9月> 博士(文学)
		東洋史概論
その他	講師	北尾 洋二 ( ) <令和6年9月> 学士(社会学)
		メディア論 アントレプレナーシップ
その他	講師	宗 建郎 ( ) <令和6年9月> 修士(文学)
		自然地理学概論
その他	講師	西 貴倫 ( ) <令和6年9月> 修士(法学)
		人権

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	福本 忍 ( ) ＜令和6年9月＞ 修士(法学)
		政治
その他	講師	八木 香里 ( ) ＜令和6年9月＞ 修士(栄養科学)
		健康と栄養
その他	講師	和田 健資 ( ) ＜令和6年9月＞ 商学学士
		下関の観光
その他	講師	岩田 耕司 ( ) ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅳ
その他	講師	有元 康一 ( ) ＜令和7年9月＞ 博士(学校教育学)
		数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ
その他	講師	石原 海 ( ) ＜令和7年9月＞ 博士(理学)
		幾何学
その他	講師	古波蔵 香 ( ) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)
		道德教育
その他	講師	吉岡 一志 ( ) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)
		総合的な学習の時間及び特別活動の指導法
その他	講師	山田 雅之 ( ) ＜令和8年4月＞ 博士(認知科学)
		情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	福本 忍 ( ) ＜令和6年9月＞ 修士(法学)
		政治
その他	講師	八木 香里 ( ) ＜令和6年9月＞ 修士(栄養科学)
		健康と栄養
その他	講師	和田 健資 ( ) ＜令和6年9月＞ 商学学士
		下関の観光
その他	講師	岩田 耕司 ( ) ＜令和7年4月＞ 教育学修士
		数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅳ
その他	講師	有元 康一 ( ) ＜令和7年9月＞ 博士(学校教育学)
		数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ
その他	講師	石原 海 ( ) ＜令和7年9月＞ 博士(理学)
		幾何学
その他	講師	古波蔵 香 ( ) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)
		道德教育
その他	講師	吉岡 一志 ( ) ＜令和7年9月＞ 修士(教育学)
		総合的な学習の時間及び特別活動の指導法
その他	講師	山田 雅之 ( ) ＜令和8年4月＞ 博士(認知科学)
		教育方法論(ICT活用含む) 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
  - 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
  - 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
  - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・窪田和巳教授について、クロスアポイントメント制度の勤務元の都合により就任が令和6年4月から令和7年4月に遅延（令和5年5月教員審査済み）。なお、当該遅延については令和6年2月に文部科学省高等教育局大学教育・入試課大学設置室に報告済みであり、また、当該教員が担当する授業科目については2年次以降に配当された科目であるため、令和6年度において学生への影響はない。
- ・川野祐二教授辞任後、引き続き講師として「科学技術史」を担当
- ・中林浩子教授の「教育学」を天野かおり准教授に、「教育方法論（ICT活用含む）」を山田雅之講師に担当者を変更。「生徒指導（進路指導含む）」をオムニバスに変更し、西山久子講師を追加。
- ・加藤秀男准教授の「外国研修（英語）」をPaul Collett教授に変更
- ・渡邊尚孝教授の「教育心理学」を川俣智路講師に変更
- ・天野かおり准教授の「教育原理・教育課程論」をオムニバスに変更のうえ、佐々木司講師及び静屋智講師に担当者を変更
- ・上野恵美准教授の学位を変更
- ・大野悠介准教授辞任により、「日本国憲法」及び「法学総論」の担当者を檜垣宏太講師に変更
- ・日高卓朗准教授就任により、「経営学」の担当者を西田郁子准教授から日高卓朗准教授に変更
- ・松崎守利准教授が教授へ昇任
- ・太田麻美子准教授が姓を変更
- ・呉香善講師が准教授へ昇任
- ・小西哲也講師が特命教授として採用
- ・藤井崇准教授就任により、「日本史概論」の担当者を櫻木晋一講師から藤井崇准教授に変更
- ・張影講師辞任により、「生命と生態」及び「人間と物質」の担当者を高橋洋講師に変更

- (注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。  
**原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**  
なお、改正後大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。）
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
14	7	11
名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六表第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八表により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
9	4	4	0	17	15	0	7	4	4	0	15	14	0
(8)	(4)	(4)	(0)	(16)	(14)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
9	4	4	0	17	15	0	9	4	4	0	17	15	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「一」を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員数を要調整のみであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数字を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数字を記入するとともに、  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) =  $\frac{17}{17} = 100$  %  
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') =  $\frac{15}{15} = 100$  %  
 設置時の計画(A')

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{2}{15} = 13.33$  %  
 現在(報告時)の状況(B)

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) =  $\frac{0}{0} = -$  %  
 設置時の計画(A)

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{17} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						該当なし			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|--|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見への対応において、本学が掲げるアドミッション・ポリシー「(A) データサイエンスを学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ数学及び外国語の知識」を重点的に測定、評価するため、一般選抜においては「大学入学共通テスト」の「数学①」及び「数学②」が必須教科であることが示された。「数学②」には「情報関係基礎」が科目として含まれているが、本学科の開設2年目となる令和7年度以降の大学入学共通テストでは同科目は廃止され、新たな科目として「情報Ⅰ」が出願されるなど、新しい学習指導要領に対応した試験となることから、令和7年度以降の入学選抜において、「情報Ⅰ」をどのように活用するのかについて、アドミッション・ポリシーも踏まえ、上で、高校生などの受験生や保護者、高等学校等が十分に理解して対応できるようあらかじめ明確に示しておくこと。</p>	<p>令和7年度入学選抜について、一般選抜における「大学入学共通テスト」「情報Ⅰ」については選択科目としている。(6)</p> <p style="text-align: center;">【認可】 遵守事項</p>	<p>「情報Ⅰ」に関しては、試験の内容やレベル感などのデータがなく、本学のアドミッションポリシーとの関連もどの程度のものか定かではない状況である。ついては、令和7年度入学選抜以降の複数年度の共通テストの状況や、類似する分野をもつ他大学の状況等も踏まえながら、当学部における入学選抜にどのように利用するか検討を進める予定としている。</p> <p>「情報Ⅰ」の取扱を変更する場合には、受験生の不利益とならないように前もって公表し、受験生や高等学校等に、十分に案内をする予定である。(6)</p> <p style="text-align: center;">履行中</p>

<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見への対応において、本学が掲げるディプロマ・ポリシー(B)に新たに「データを分析・活用」することを加えるとともに、データの分析手法及び技術の修得を目的とする授業科目「データ分析演習」が新たに配置されたが、「データ分析演習」が「実務として活用するデータを分析し、活用する能力を身に着ける」ための分析手法及び技術の修得を目的としていると説明されていることから、本学科が想定している実務分野である「ビジネス分野」や「ヘルス分野」におけるデータ分析との関連を理解しながら学修することができるよう、演習内容を工夫することが望ましい。</p>	<p>【認可】 助言事項</p>	<p>2年次の前期にビジネスデータサイエンス分野の必修科目である「経営情報概論」及びヘルスデータサイエンス分野の必修科目である「保健医療学概論」を配置することにより、当学部卒業後の実務分野として想定しているビジネス分野やヘルスケア分野における基礎的な知識を備えることができる。 また、3年次の通年科目として統計学・情報学分野、ビジネスデータサイエンス分野、ヘルスデータサイエンス分野のすべての分野の教員から指導を受けることができるプロジェクト型の科目である「DSプロジェクト」を配置しており、各分野の教員が研究テーマに基づいた講義を行うことにより、学生は自身の関心分野を考え、卒業論文のテーマ選定の準備を行うこととなる。 この履修配置により、想定する実務分野にかかる知識の習得や関連分野にかかる意識を醸成することで、3年次後期に配置する「データ分析演習」においても、将来を見据え、実務分野との関連を意識した学修が可能になることを想定している。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>各科目においては授業評価アンケートなどの実施により自己点検を行い、適宜演習内容について工夫を凝らすことで、ディプロマ・ポリシーの達成に向けてより適切な教育内容の提供を行う予定である。(6)</p>
<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>令和6年度入学選抜においては、80名の入学定員のところ、551名の志願があり、最終的に88名の学生が入学した。 アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜を引き続き行うため、令和7年度入試において、入試区分ごとの募集定員の見直しを行い、一般入試にかかる前期日程の人員を5名減らし、中期日程の募集人員を5名増やした。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>本学では、Grade Point (GP) を活用した客観的な評価に加え、学生が自分自身が身に付ける力を主体的にマネジメントできる主観的評価尺度である「ESLO(エスロ)」を開発・導入し、より多角的に学修成果の検証が行える体制づくりを行っている。これにより、ディプロマ・ポリシーの達成状況などの情報を収集のうえ検証を行い、今後も教育にふさわしい環境が提供できるよう、必要に応じて定員の見直しも踏まえ検討を続けていく予定である。(6)</p>
<p>認可時 (令和5年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>公立大学法人下関市立大学職員就業規則により規定している本学の定年は満65歳であり、完成年度末において定年を超える者が4名いるが、下関市立大学特命教員に関する規則附則第2項に基づき完成年度まで勤務することが可能であり、学生に不利益のないよう適切な教育環境の提供を行う予定である。また、若手教員の採用手続きについても完成年度までに着実に実施する予定である。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>定年を超える教員の専門分野に係る若手教員の採用手続きを完成年度までに行う。 令和9年度に4名を採用し(令和10年4月1日着任予定)、令和13年度には1名を採用予定(令和14年4月1日着任予定)である。 また、途中退職等により欠員が生じた場合には、適宜採用活動を行う。(6)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。  
**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。  
**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。  
**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <データサイエンス学部 データサイエンス学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画			変更内容・状況、今後の見通しなど				
①入学者選抜方法等			①データサイエンスを学ぶために必要となる数学の基礎的な知識を持つ優秀な学生をより多く受け入れるため、令和7年度入試から以下のとおり募集人員を変更する。(一般選抜前期日程の募集人員を減らし、公立大学中期日程の募集人数を増やすもの)				
	種別	試験の内容	募集人員				
学校推薦型選抜	全国推薦	書類審査 小論文試験	15人	学校推薦型選抜	全国推薦	書類審査 小論文試験	15人
	地域推薦	書類審査 小論文試験	15人		地域推薦	書類審査 小論文試験	15人
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査(小論文) 書類審査	40人	一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査(小論文) 書類審査	35人
	公立大学中期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査(数学) 書類審査	10人		公立大学中期日程	大学入学共通テスト 個別学力検査(数学) 書類審査	15人

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制
a 委員会の設置状況
法人の第3期中期計画において「FDの組織的な実施により教員の資質向上を図るとともに、教員間で情報共有しながら、全学的に授業及び授業支援の改善を推進する」と定め、これに沿った年度計画を毎年策定し実施している。従前はFD委員会が中心となって取り組みを行っていたが、総合大学化を視野に入れて組織を見直し、令和2年度から令和4年度までは教学推進マネジメント会議(議長は学長)がFD活動を担当していた。令和5年度からは、FD・SD委員会を設置し、学長が指名するものが委員長となり、また各学部の副学部長や事務職員が委員となって教職協働のもと取り組みを進めている。
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
令和5年度は、5月22日及び7月20日に実施し、教員2名を含む委員4名全員が参加した。 令和6年度については、委員はデータサイエンス学部教員(副学部長)を含み6名となり、第1回を4月30日に実施した。
c 委員会の審議事項等
下関市立大学FD・SD委員会規程(添付1)第2条より
(1) FD・SD推進に関すること。
(2) 教員による教育力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
(3) 職員の能力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
(4) 職員の研修の企画及び実施に関すること。
(5) その他FD及びSDに関すること。

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・授業評価アンケート
- ・新任教員を対象としたFD研修会
- ・FDワークショップ、FDフォーラムの開催

### b 実施方法

- ・授業評価アンケートについては、毎年学期ごと（7月、1月）に実施している。
- ・毎年4月に新規採用の教員を対象としたFD研修会を開催し、本学の目的理念や教育研究活動に関する研修を行っている。
- ・FDワークショップ、FDフォーラムを開催し、学内外の情報を共有しながら授業への活用を図っている。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートについて、専門演習や受講者が少人数の科目などを除いた科目を対象とし、非常勤教員が実施する科目を含め、全科目において実施した。
- ・令和6年度に着任した新任教員22名に対し、2回（第1回：4/1 22名参加、第2回：4/18 21名参加）の教員研修を実施した。令和6年度は計8回新任教員を対象とした研修を実施する予定である。
- ・令和4年度はアクティブ・ラーニングについて、他大学の教員を招き事例報告を受けた。また、令和5年度は、総合大学化を見据え、他大学の副学長を招き「総合大学化に向けた意識と行動の変革」をテーマに研修を行い、専任教員の約2割となる13名が参加した。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果をもとに、各教員の点検・評価シートに振り返りや改善策等を記入することで、授業改善に活用した。点検・評価シートにアクティブラーニングに関する項目を追加し、全体的な実施状況を確認した。令和5年度春学期開講科目のうち9割以上がアクティブラーニングを実施していることが確認できた。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

各学期に学生に対して授業評価アンケートを実施している。令和6年度は7月と1月に実施予定。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は教員に通知し、教員は「自己・点検評価シート」に課題・自己評価を記入する。また、FD・SD委員会においては、当該シートの分析を行い、分析結果を本学ホームページに掲載するほか、教職員及び学生に公表している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

適切な入学者選抜を実施するべく、進学説明会や高校ガイダンス、大学訪問の受入などを通じて新学部設置について広報活動を行った結果、80名の入学定員に対し88名の学生が入学するなど、アドミッション・ポリシーを踏まえた確実な学生確保を実現した。また、設置の趣旨にも掲げた通り、「多様なデータを設計・分析・活用するために必要な数理統計・情報学・社会科学に関する理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題の解決や新たな価値の創造に貢献しうる人材を養成する」ため、カリキュラム・ポリシーに基づき、1年次にはデータサイエンティストの基本となる社会人基礎力を学び、専門基礎及び専門応用を学修する上での土台となる基盤教育及び教養教育の科目を多数配置するとともに、専門基礎であるデータサイエンスに関する数学の基礎知識習得と情報やプログラミングに関する基礎知識の習得を進めている。

設置後1か月の計画履行状況ではあるが、設置の趣旨・目的をおおむね順調に達成していると評価している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年10月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年10月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和10年に評価機関（大学教育質保証・評価センター）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 下関市立大学FD・SD委員会規程

令和 4 年 12 月 21 日

規 程 第 3 0 号

改正 令和 6 年 1 月 24 日規程第 1 号  
令和 6 年 3 月 27 日規程第 16 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、下関市立大学の教員による教育の体系化と教育力の向上を図り、学生に対する教育の質を高めること（以下「FD」という。）、下関市立大学の職員としての大学事務、教育及び学生支援活動における能力と資質向上を図ること（以下「SD」という。）を目的として設置される下関市立大学FD・SD委員会（以下「委員会」という。）の運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(活動内容)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について活動する。

- (1) FD・SD推進に関すること。
- (2) 教員による教育力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (3) 職員の能力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (4) 職員の研修の企画及び実施に関すること。
- (5) その他FD及びSDに関すること。

(構成)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 副学部長
- (2) 教養教職副機構長
- (3) 学務部教務課長
- (4) 事務局総務部人事課長
- (5) その他学長の指名する者

(任期)

第 4 条 前条第 5 号の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、前条第 5 号の委員の任期は、指名した学長の任期の終期を超えないものとする。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長を置き、学長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議において議決を要するときは、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 議長は、特に必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(議事録)

第8条 委員会は、会議の議事について議事録を作成し、保管するものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、FDに関することは学務部教務課、SDに関することは事務局総務部人事課とし、全般事項については共管とする。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、令和4年12月21日から施行する。

2 この規程の施行後初めて指名された第3条第5号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、令和7年3月31日までとする。

附 則(令和6年1月24日規程第1号)

この規程は、令和6年1月24日から施行する。

附 則(令和6年3月27日規程第16号)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第1条及び第2条の規定は、令和6年3月27日から施行する。